

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 志摩市	対談項目1 未利用資源活用による特産品開発について	水産研究所の生物資源の生産への指導について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未利用資源の活用にあたっては、県水産研究所にご指導いただき、ありがたいと思っております。</li> <li>・志摩地域には「アカモク」と呼ばれる海藻が広く分布しているが、これまでは、全く価値がないものとして扱われてきました。</li> <li>・近年、健康食ブームにより、全国的に「アカモク」の認知度が急上昇してきました。</li> <li>・志摩地域では、国の補助金メニューを平成24、25年と活用し、「アカモク」を新たな特産品にすべく、色々な商品を開発してきました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで利用されてこなかった「アカモク」が、関係機関との連携によって様々な商品として開発され、販売にこぎつけるなど、今後の展開が期待されるところです。</li> <li>・水産研究所では、伊雑ノ浦で行っている「ウスバアオノリ」の安定生産や商品化に向けた取組を引き続き進めていくので、ご協力をお願いします。</li> </ul>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
2 志摩市	対談項目1 未利用資源活用による特産品開発について	アカモク加工業者への補助金等の支援について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・志摩市内には製造加工所がないため、「アカモク」の安定した供給ができず、そのための施設整備がこれからの課題となっています。</li> <li>・県補助金等、加工業者への支援ができる制度はないでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造施設整備については、販路確保と並行してどのような施設をつくるのかについてご検討をお願いします。</li> <li>・第1次産業者の漁業者と第2次産業者の加工業者が連携して取り組む場合に活用できる「6次産業化ネットワーク活動交付金」があります。</li> <li>・他にも、初期段階の必要経費に対して支援する「みえ地域コミュニティ応援ファンド」や大学、公的試験場と共同研究開発を行う事業に対して支援する「みえ農商工連携推進ファンド」があります。</li> <li>・これらファンドは、ソフト事業とともに、機器借用料、機器整備等設備費も支援対象となっているので、どの支援策を活用するのかについて担当課も積極的に相談に乗らせていただきたいと思います。</li> <li>・2つ以上の市町が連携して取り組む場合、「南部地域活性化基金」の活用も対象となるので、検討をお願いします。</li> </ul>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
3 志摩市	対談項目1 未利用資源活用による特産品開発について	アカモクや三重県産海藻の給食利用等による利用拡大について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、「アカモク」や三重県産の海藻を給食で提供していくことができないか、ご検討をお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県では、毎月「みえ地物一番給食の日」を設定しており、昨年11月には県内産海藻を使った献立11事例について報告がありました。</li> <li>・「アカモク」については、今年6月に志摩市の学校給食に提供されたと聞いています。</li> <li>・今年4月には、志摩市商工会から三重県学校給食会に商品開発の依頼があり、学校栄養職員等を対象に、「アカモク」加工品のサンプルを提供し、学校給食の食材としての活用方法について意見を求めたところ、好評でした。</li> <li>・今後は、今年度の学校給食地場産品導入事業で、学校給食食材としての使用を視野に検証をしていくので、協力をお願いします。</li> <li>・県では、「地場産品導入促進検討会」を開催しており、学校給食に導入を図りたい食材等あったら連携して進めていきたい。</li> <li>・広く利用できる条件が整えば、市町教育委員会に啓発し、活用の推進を働きかけていくので、協力をお願いします。</li> </ul>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
4 志摩市	対談項目2 志摩の郷土料理『てこね寿司』を利用した”まちおこし”と志摩ブランドのPRについて	郷土料理、地元食材を一堂に披露する場、冊子等の作成の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・志摩の郷土料理「てこね寿司」を、志摩市商工会では昨年度から”まちおこし”として取り上げ、地域の観光対策として「稼げる事業者」を育てることに取り組んできました。</li> <li>・志摩市では「てこね寿司」を市内外へPRしたく、「てこね寿司マップ」を作成しました。</li> <li>・昨年から続く遷宮ブームをPRチャンスと捉え、「てこね寿司マップ」を活用し、地域住民の地域愛が高まり、地域を誇れる気持ちが深まるよう頑張っていきたいと思っています。</li> <li>・志摩市は、志摩市商工会と協力して志摩市地域ブランド推進協議会を発足させました。</li> <li>・平成23年度からは一次産品、加工品だけでなく、自然や景観もブランド認定することになりました。</li> <li>・今後、「てこね寿司」のPRの場を設けていただきたく、県において、県の郷土料理を一堂に披露する場や料理を周知するため配布できる冊子等の作成をご検討願います。</li> <li>・また、志摩ブランドのPRのため、県内の地元食材を一堂に披露する場や、地元食材を周知するため配布できる冊子等の作成をご検討願います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県は今年から5年間、集中的に「食」を切り口とした情報発信に取り組んでいます。</li> <li>・今年度は、10月に「みえ食の逸品フェア2014」を外宮周辺で開催し、三重の食材や特産品の販売をする予定ですので、志摩市も「てこね寿司」等の出品について、ご協力をお願いします。</li> <li>・県では平成24年度に「みえセレクション」制度を創設し、志摩地域の県産品を含む57品目を認定し、PR用の冊子も作成しているところです。</li> <li>・また、三重テラスも活用し、志摩産の産品をPRしていただきたいと思いますようお願いします。</li> </ul>

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
5 志摩市	<p>対談項目3 地域医療提供体制の構築について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療介護総合確保推進法に基づく支援</li> <li>・県立看護大学の地域推薦制度の見直し</li> <li>・看護師確保が困難な地域の地域推薦制度の検討</li> <li>・医療従事者全般の確保対策に関して三重県の現状や今後の展望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・志摩市内の病院では、医師不足とともに看護師不足が深刻化しています。</li> <li>・医療介護総合確保推進法の成立により、特に看護職員の養成や離職防止策、復職支援等の対策により、現状の課題が解消されることを期待しています。</li> <li>・看護師確保対策として、三重県立看護大学の地域推薦入学の活用をしていきたいが、市町村直営医療機関への就職が対象となるため、指定管理者運営の場合は適用されません。</li> <li>・よって、県立看護大学の地域推薦制度の見直しを検討していただき、併せて、三重大学医学部看護学科の地域枠推薦制度についてもご検討をお願いします。</li> <li>・志摩市には産婦人科の診療科目がないので、県も回復に取り組んでいただきたいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年に医師の需給調査をした結果、2035年までには医師数の不足は概ね解消するが、地域偏在、診療科目偏在は残るため、どのように確保していくのが課題です。</li> <li>・看護師については、2035年でも不足するとの調査結果となっています。</li> <li>・県では、看護職員確保対策として、①県内就業の促進、②新人看護職員の離職防止、③無料職業紹介、④潜在看護職の再就業支援、⑤看護職の魅力紹介を柱として取り組んできました。</li> <li>・医療介護総合確保推進法により、県は「医療勤務環境改善センター」を設置し、アドバイザー派遣等で医療機関の勤務環境改善に向けた取組が促進されるよう取り組んでいきます。</li> <li>・県立看護大学の地域推薦入試制度については、既に独立行政法人の運営に移行した市立病院でも制度を適用した事例があるため、志摩市民病院についても、受験生が不利益を受けないよう、前向きに検討していきます。</li> <li>・また、三重大学医学部看護学科の地域推薦制度の導入についても、働きかけていきたいと思っています。</li> <li>・医師確保については、「三重県地域医療支援センター」を設置し、17診療領域の後期臨床研修プログラムを作成しました。</li> <li>・県立志摩病院は整形外科等の各専門医のプログラム対象病院として参画をしており、若手医師にプログラムを活用していただいて医師確保支援につなげてくよう取り組んでいます。</li> <li>・志摩市民病院はこのプログラムに参画はしてはもらっていませんが、また検討をしていただきたいと思います。</li> </ul>